



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月13日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2499 URL <http://www.wasou.com/profile/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道面 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 道面 義雄 TEL 03-3216-0070
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	4,194	10.1	566	59.9	516	64.5	331	95.5
29年12月期第3四半期	3,808	12.7	354	591.9	314	—	169	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 337百万円 (85.5%) 29年12月期第3四半期 182百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	36.39	—
29年12月期第3四半期	18.81	—

(注) 平成30年12月期第3四半期および平成29年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	8,801	2,901	32.9
29年12月期	7,645	2,603	33.9

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 2,892百万円 29年12月期 2,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	4.00	—	7.00	11.00
30年12月期	—	4.00	—	—	—
30年12月期（予想）	—	—	—	8.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,450	3.9	590	18.3	530	19.4	364	29.5	39.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	9,134,000株	29年12月期	9,002,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	0株	29年12月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	9,098,400株	29年12月期3Q	9,002,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループのビジネスモデル「教えて、伝えて、流通を促す」は、毎年春と秋の年2回、受講料無料のきもの着付け教室を開講し、受講されたお客様に着付けの技術や和装文化等の知識を伝え、そのうえで開催する販売会において発生する販売仲手数料によって、収益が発生する仕組みです。

当第3四半期連結累計期間におきましては、組織の見直しを図り、より柔軟で効果的な運営を可能とする業務執行体制の構築に着手し、業績向上に向けた事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、売上高は4,194百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は566百万円（前年同四半期比59.9%増）、経常利益516百万円（前年同四半期比64.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は331百万円（前年同四半期比95.5%増）となり、計画以上の業績をあげることが出来ました。増収増益の主な要因としては次のとおりです。

- ・春の新規顧客向け教室の継続率が上がっていることから、販売会を計画より多く開催することが出来、売上も堅調に推移いたしました。
- ・卒業生（既存顧客）向けの大型イベントであるきもの着姿コンテスト「きものブリリアンツ全国大会」（8月7日～8日の2日間実施）は、リニューアル後初めての開催となりましたが、きものを着ることの楽しさや、きものを着て美しくなることへの喜びにフォーカスし、会場作りや演出等にも注力した結果、お客様からご好評をいただき、前年を上回る実績を残すことが出来ました。
- ・卒業生を対象とした企画教室「らくらく帯結び5（ファイブ）」は、きものも長襦袢も不要、帯の種類に合わせた幾通りもの結び方を集中的にレッスンするというユニークさが功を奏し、多くのお客様に受講いただき、付随する販売会における売上も堅調に推移しました。
- ・販売費及び一般管理費につきましては、3,154百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。コストバランスを重視し、徹底した管理を行うことで、販売促進費の上昇を抑制できたこと等も利益増加につながりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,156百万円増加し、8,801百万円となりました。これは割賦売掛金が616百万円、現金及び預金が411百万円増加したこと等によるものです。また、負債につきましては、前連結会計年度末と比較して859百万円増加し、5,900百万円となりました。これは、グループ企業のニチクレ株式会社（当社顧客向けショッピングクレジット事業）の運転資金等に充当する長期借入金が453百万円増加したこと等によるものです。純資産につきましては、利益剰余金が231百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して297百万円増加し、2,901百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月31日に公表いたしました「内部管理体制の見直し及び特別調査委員会による調査報告書の受領に関するお知らせ」において開示しました通り、当社では調査委員会から指摘された全額について、当該関連当事者に対し返還請求をいたしました。これについて、当該関連当事者より速やかな返金及び返金の意向が示されていることを受け、平成30年12月期第4四半期連結会計期間において、返金額67百万円のうち57百万円を特別利益として計上いたします。

このため、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想を上回ると判断したため、平成30年11月13日に通期業績予想を修正いたしました。

<日本和装のいま・これから>

当社グループでは、経営基盤をより強固なものにしていくため、年間を通して、お客様のニーズによりお応え出来るよう、ビジネスモデルのブラッシュアップに取り組んでおります。第4四半期連結会計期間におきましては、広告宣伝費を追加計上し、手ぶらで手軽にご参加いただける、1日限りのきもの着付け体験を当社の全国各拠点にて実施いたします。この1日きもの着付け体験は従来通り無料、そして、販売会は設定しておりません。当社グループでは、この取り組みが世の中の忙しい女性たちに向け、きものへの敷居を下げ、きものへの興味や関心を高めるきっかけになればと考えております。きものファンを創出する「種蒔き」の役割を担うことが、業界のため、消費者のためになり、ひいては当社の発展にも繋がるものと確信しております。

連結子会社につきましては、4月に設立した日本和装沖縄株式会社で、この秋から沖縄県で初めてとなる無料きもの着付け教室(受講回数15回、4か月半)の募集をスタート。多くのお客様にご応募いただき、満員御礼で教室を開講することが出来ました。また、新業態である卸売事業の一環として、地元産地とのタイアップで、沖縄独特の染めの技術を生かしたオリジナルの和装品を開発。他のどこにも流通していない、お客様に感動していただけるような商品の取り扱いを目指してまいります。

2018年は博多織の技法伝来777周年のメモリアルイヤーであることから、博多織製品への注目度も高まっております。株式会社はかた匠工芸(博多織の製造販売)では、博多の自社工場への販売ツアーでの売上も好調に推移しており、今後の納品予定数も増加を見込んでおります。

第4四半期連結会計期間は、年末に向け、販売会がピークの時期を迎えます。当社グループでは新体制のもと、今後とも、株主様、お客様、取引先様等ステークホルダーの皆様に喜んでいただけるよう、企業活動に邁進して参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,011,488	2,422,677
営業未収入金	167,404	223,830
割賦売掛金	4,122,518	4,738,663
たな卸資産	163,839	154,235
その他	534,223	639,877
貸倒引当金	△49,686	△60,362
流動資産合計	6,949,788	8,118,922
固定資産		
有形固定資産	294,297	290,428
無形固定資産	80,341	72,451
投資その他の資産	320,653	319,804
固定資産合計	695,292	682,685
資産合計	7,645,081	8,801,607
負債の部		
流動負債		
営業未払金	31,676	22,452
短期借入金	2,259,380	2,162,022
未払法人税等	92,936	143,063
前受金	358,622	373,215
営業預り金	42,657	69,902
その他	399,162	834,824
流動負債合計	3,184,437	3,605,481
固定負債		
長期借入金	1,820,886	2,274,378
その他	36,033	20,709
固定負債合計	1,856,919	2,295,088
負債合計	5,041,356	5,900,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	478,198
資本剰余金	336,487	378,764
利益剰余金	1,805,787	2,037,283
株主資本合計	2,601,909	2,894,246
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,660	△1,291
その他の包括利益累計額合計	△9,660	△1,291
新株予約権	9,361	6,237
非支配株主持分	2,113	1,845
純資産合計	2,603,724	2,901,037
負債純資産合計	7,645,081	8,801,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,808,357	4,194,068
売上原価	410,489	472,894
売上総利益	3,397,868	3,721,174
販売費及び一般管理費	3,043,371	3,154,490
営業利益	354,496	566,683
営業外収益		
受取利息	64	67
その他	6,745	4,586
営業外収益合計	6,809	4,653
営業外費用		
支払利息	23,141	24,795
支払手数料	22,770	14,111
その他	1,185	15,559
営業外費用合計	47,097	54,465
経常利益	314,208	516,871
特別利益		
固定資産売却益	—	939
新株予約権戻入益	—	1,447
特別利益合計	—	2,387
税金等調整前四半期純利益	314,208	519,259
法人税、住民税及び事業税	110,989	194,337
法人税等調整額	21,134	△2,047
法人税等合計	132,123	192,290
四半期純利益	182,085	326,969
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12,717	△4,077
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,367	331,046

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	182,085	326,969
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△61	10,677
その他の包括利益合計	△61	10,677
四半期包括利益	182,023	337,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,661	339,414
非支配株主に係る四半期包括利益	10,362	△1,767

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、内部管理体制の見直しにあたり、過年度の関連当事者取引等との取引に関する事実関係や原因の究明について調査を行う必要があるとの認識に至り、外部専門家を招聘した特別調査委員会を設置し、調査を行いました。その結果、平成30年10月31日に同調査委員会より調査報告書を受領し、同日の臨時取締役会において過年度の関連当事者取引について必要な追認決議を行うとともに、追認しなかった取引金額67,542千円については返還請求を行うこととしました。

すでに一部の取引については、当該関連当事者より60,955千円の返金を受け、他の当該関連当事者からは6,587千円の返金の意向を受けております。